

第三者評価の受審実績（過去5年間）	平成21、22、23、24、25年度		
取材の対象年度	平成24年度	評価手法	標準の第三者評価

## 【取材メモ】



### 取材の視点

- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価（自己評価）のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

### ■改善の取り組みとその成果③～計画的な職員研修と業務の標準化に向けた取り組み

研修については担当職員が全体の研修計画を立案しているほか、新任職員に対する教育は各寮舎内でのOJTを基本として、ベテランの職員が指導にあたっています。また、業務マニュアルについては以前より相当のボリュームのものが整理されていますが、その活用や整理の方法等に関して、第三者評価で指摘を受けたことがありました。将来構想において、職員の増員を計画しているということなので、事業所が受け継いできた大切な経営資源であるマニュアルを新人に対するOJT用のテキストとして使用するなど、活用の幅をさらに広げる中で、その本来の価値を高めていくことが期待されます。